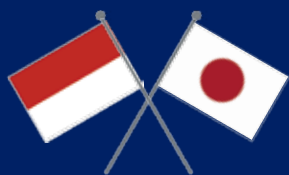


Bintang pari

南十字星



大阪大学外国語学部 新キャンパス完成予想図
写真提供協力 咲耶会



南十字星会
大阪大学外国語学部
インドネシア語専攻同窓会

第26号

2020 秋

つれづれなる
ままに……

世の中がコロナ禍により
大騒ぎの中であって
業務から解放された身分で
つれづれなるままに
過ぎにし時を振り返って……



南十字星会会長
小原 一浩 (1963年卒)

企業が大卒に求める能力

企業が大卒に求める能力は、昨今の産業構造や技術開発の変化が急激な現代では、環境適応力です。産業社会をみると、サービス経済化、ICT化、急激な情報化、技術開発の質的变化、雇用のグローバル化などの要素がみられます。

現在は、製造業でも「顧客サービス企業化」現象がみられます。また、今回のコロナ禍後の社会では、テレワークなどのICT化が世の中の構造を大きく変える可能性があります。技術開発の質的变化が要素技術から統合技術へと焦点を変えていて、複数の技術分野「プロジェクト」型の開発が求められているのです。

企業が重視する素質・態度は、①「主体性」②「コミュニケーション能力」③「実行力」が上位を占めています。「共通に必要な能力要素」の中で「コミュニケーション能力」が一番求められているのです。また、「自ら進んで行動できる能力」(＝主体性)、「困難な状況の中であっても行動できる」(＝実行力)などです。

インドネシア語専攻学生に求められる能力

外大の卒業生は、昔から世界を股に活動し、恐らくこれ程多くの卒業生が海外関係で活躍していた大学は少ないと思われます。昔は、インドネシア語専攻語卒業者に求められる能力は英語並びにインドネシア語と実行力でした。その証拠に当時からインドネシア語学科には語科指定の求人が多く、指定以外の求人では「英語堪能者」として、有利な就職活動を展開していました。

第2次大戦後、独立したアジアの多くの国々は、新興国として経済発展を遂げ、21世紀は間違いなくアジアの時代です。私が初めてインドネシアへ赴任した頃は、インドネシア共和国の人口はほぼ当時の日

本と同じでしたが、今では日本の2倍を超え世界で4番目の人口であり、日伊貿易量は他のアジア諸国の中で群を抜いています。

日本の友好国として大きな存在であり、ASEANの中で中心的な役割を担っています。グローバル化時代であって、外国語を習得した経験は貴重であり大きな強みです。外国語の習得は、企業が現在求めている「コミュニケーション能力(対人能力)」「自ら進んで行動できる能力(主体性)」「困難な状況でも行動することができる能力(実行力)」に対応しているのです。

学際的学習・生涯学習

10年前に外大は阪大と統合し、唯一の外国語学部を擁する国立大学です。これは在学生にとって大きなメリットです。外大当時にも法律や経済、経営に関する科目がありましたが、入門程度のものが多かったのです。しかし、今は、総合大学の中の一学部なので、在学中に、是非とも法学部で憲法、刑法総論、刑法各論、民法(総則・物権・債権・不法行為・親族相続)、商法等の科目を履修して下さい。少し欲張りですが、専攻語、英語以外に法学を学んでおけば、企業組織内では鬼に金棒です。

経営学関係は企業内でのキャリアアップ学習で可能です。法学は「学問」としての体系を学んでおく方が良いのです。欧米の企業と接触した時に、幹部クラスにはダブルキャリアー(2つ以上の大学卒業者)が多くいました。現在は、日本でも大学卒業後、絶え間ない学習が求められていて生涯学習の時代です。一生が学びの連続です。

最後に、私の場合ですが、インドネシア語を習得するのは、あくまでもコミュニケーション能力を高めるためのもので、決して言語学者になるための学習ではありませんでした。

インドネシア語専攻生の定員問題

～ 小原会長への重要引き継ぎ事項 ～



宮崎 衛夫 (1965 年卒)

昨年一身上の都合により南十字星会会長を退いた宮崎です。紙面をお借りして、かねてからの重要懸案事項についてご報告とお願いをさせていただきます。

ご承知の通り、大阪外国語大学と大阪大学は2007年10月に統合し、旧大阪外国語大学は大阪大学外国語学部として引き継がれました。この統合と同時に外国語学部の入学定員数が見直され、我がインドネシア語専攻生の定員は、それまでの20~25名から、10名に削減されました。これはなんと全25言語中、最も少ない定員数です。こんなことはあり得ない、何かの間違いだ大変ショックを受けました。

これは、伝統ある「南十字星会」としては看過できない問題であり、私は微力ながら、定員を増やすための活動を続けてまいりました。歴代の外国語学部長に執拗と思われるほど定員増の働きかけをするほか、統合時の鷲田総長に次ぎ、平野総長、そして現在の西尾総長に面談での要請のみならず、南十字星会としての「嘆願書」を提出させていただきました。

当初は大学当局から、統合後3年をめどに定員を見直すとの言を得ておりましたが、その見直しがあったのは、なんと2017年であり、その翌々年入学者を10名から12名にする事が発表されました。まさに“Too little, too late”と大学側に嫌味を言ったものでした。12名はまだ全言語中の最下位であり、残念ながら定員倍増のお願いをしていた目標にはほど遠いものであります。その後現在まで進展は見られません。統合時インドネシア語の2名の先生が他学部に移動されて、専属の日本人教員が准教授1名しかおらず、これが定員大幅減の理由との説明をうけておりました。一つ明るい情報としては、その後准教授2

名となり、昨年には講師1名が増員になっております。この体制強化により、入学定員の増加につながることが期待できます。

ここで改めて、これまで総長ほか大学関係者に訴えてきたインドネシア語の重要性について付記します。

インドネシア語の重要性

- ① 日本—インドネシアの政治・経済・文化的な密接な関係と、地政学的な重要性。
- ② インドネシアは豊富な天然資源・人的資源を有する世界第4位の人口を誇るASEANの盟主であること。
- ③ 中国語、英語、スペイン語、ヒンディ語に次ぎ3億人におよぶ使用人口の多い言語であること。
- ④ 東南アジアで唯一のG20メンバー国であること。
- ⑤ 国民総生産で、2030年には世界の4~5位の大国に成長するであろうとの予測があること。

これらにより、今後インドネシアの言語・社会・文化を理解する有能な人材が益々必要となることは自明の理であります。

定員増という課題に対し同窓会組織としてどれ程の事ができるかと思いつつも、大学当局に働きかけをしてきた過程で、多大なご支援をいただきました1960年卒の西田達雄先輩、林喜久雄先輩には大変感謝しております。

本件では、道半ばで会長を退くことになりましたことを無念に思います。今後は、会長を引き受けただいた小原一浩先輩に陣頭指揮を取っていただくをお願い致します。もちろん私にできることはお手伝いする所存であります。最後に南十字星会の皆様にもご理解とご支援をお願いする次第です。

経済連携協定（EPA）に基づく 外国人“看護師”“介護福祉士”候補者の 国家試験結果について



日本インドネシア協会元参与
西田 達雄（1960年卒）

国家間協定としてスタートした看護師・介護福祉士候補者受け入れはインドネシアが2008年、フィリピンが2009年、そしてベトナムが2014年からスタートしていますが、今年度の候補者の入国はコロナウィルス感染拡大で、未だ実現していません。

EPA候補者は下記した研修を母国・日本で受けて終了後に各々がMATCHINGで合意した病院・介護施設等で働きながら、年一回の国家試験に向けて受験勉強を続けてゆくことになります。

2019年度看護師国家試験は去る2月16日(日)で、合格発表は3月19日(木)に行われ、介護福祉士国家試験は筆記1月26日(日)、実技3月1日(日)で、合格発表3月25日(水)に行われ、その結果が以下の表の通りです。

(注) ご参考まで (西田私見含む)

- 1 EPA候補者受け入れ枠は毎年各国共に看護200人、介護300人、看護は大幅未達で年毎に減少、介護はインドネシア・フィリピン共に枠一杯に近い、ベトナムについてはベトナム側での予算枠等の事情で受け入れ数少ない。
- 2 研修について、インドネシア・フィリピンは現地で6ヵ月間(担当:国際交流基金)、日本で6ヵ月間(担当:海外産業人材育成協会)、ベトナムは現地で12ヵ月間、日本で2ヵ月間(担当:アーク・アカデミー日本語学校)。
- 3 日本語学力、現状ではインドネシア・フィリピンは日本語N-5級以上とするも、インドネシアについては

A. 第109回 看護師国家試験 ※()は前年分

	受験者数	合格者数	合格率
総数	65,569人 (63,603人)	58,514人 (56,767人)	89.2 % (89.3%)
EPA看護師候補者	413人 (423人)	46人 (69人)	11.1 % (16.3%)
インドネシア	196人 (200人)	12人 (15人)	6.1 % (7.5%)
フィリピン	153人 (175人)	16人 (31人)	10.5 % (17.7%)
ベトナム	64人 (48人)	18人 (23人)	28.1 % (47.9%)

B. 第32回 介護福祉士国家試験 ※()は前年分

	受験者数	合格者数	合格率
総数	84,032人 (94,610人)	58,745人 (69,736人)	69.9 % (73.7%)
EPA介護福祉士候補者	758人 (578人)	337人 (266人)	44.5 % (46.0%)
インドネシア	293人 (236人)	107人 (78人)	36.5 % (33.1%)
フィリピン	313人 (236人)	92人 (95人)	29.4% (40.3%)
ベトナム	152人 (106人)	138人 (93人)	90.8 % (87.7%)



研修生と阪大インドネシア語専攻学生との交流会（大阪）

Salam dari kampus!



大阪大学 言語文化研究科
言語社会専攻 講師

松村 智雄 (まつむら としお)

profile

《研究内容》

インドネシアを中心とした地域研究、ボルネオ島およびマラッカ海峡の華人の歴史

《略歴》

2006年東京大学教養学部卒業、2008年同大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻修士課程修了、2013年同博士課程を修了し博士(学術)学位取得。早稲田大学アジア太平洋研究センター助手、日本学術振興会特別研究員PD、法政大学講師を経て2019年4月より現職。

《著書》

『インドネシア国家と西カリマンタン華人:「辺境」からのナショナリズム形成』(慶應義塾大学出版会)

2019年4月に外国語学部インドネシア語専攻に着任いたしました松村智雄(まつむらとしお)と申します。インドネシアをはじめとして東南アジアの華人社会について、中国華南地域や台湾、香港との連関も含めながら研究をしております。

インドネシアに触れたきっかけは、当時住んでいた大学の学生宿舎でした。そこは留学生が3割ほど暮らしている場所で、たまたまインドネシア出身の学生と知り合いになりました。インドネシア人といっても地域ごとに特徴がありますが、よく話していたのはスマトラ出身のバタック・カロの学生とジャワの華人の学生でした。学部3年次に、一つ上の先輩で、インドネシアの地方語を研究されていた人がインドネシアに留学していたので、彼がいたジャワ島中部にあるジョクジャカルタを訪れました。これが初めてのインドネシア体験でした。ジャワの人々の生活様式に触れ、海や山の自然の豊かさ、ポロブドゥール遺跡に圧倒され、大学生たちとの交流は大変楽しいものでした。

そして学部4年のときに念願かなってジョクジャカルタにあるインドネシア国立ガジャマダ大学に留学しました。卒業論文ではジャワのイスラム教徒の宗教実践を取り上げました。

は今後N-4級以上とする方向。ベトナムは日本語N-3級以上が受入れ条件。

4 国家受験資格、看護候補者は初年度からでも受験資格あり、3年以内に不合格で帰国となりますが、現状では受験点数に依り一年延長可となり、受験再挑戦となります。介護福祉士候補者は3年間の実務研修(実技試験免除)を経て、4年目に初めて受験挑戦となります。こちらも試験点により一年延長可となり再挑戦の機会と与えています。また不合格で帰国後再挑戦で受験のために来日する候補者も僅かにいますが、実質的に日本側支援者(病院・施設)が必要でしょう。

5 社団法人国際厚生事業団(JICWELS)が受入れ・斡旋機関であり、日本側受入れ(病院・施設)関係者と相手国送り出し機関やEPA候補者とのMATCHINGを行っており、候補者の入国・研修後の勤務先が決められます。

6 日本政府は2、3年前より技能実習制度での“介護”を受入れることにしており、更に昨年4月より「外国人労働者の受入れ」を正式に認める出入国管理法改正とを行い、“特定技能一号”として5年間で最大6万人の介護人材と予定していますが、現状のままでは到底実現不可能でしょう。

7 上述の技能実習制度の介護についても、EPA看護・介護についても、国家試験に合格して、資格を得れば、家族帯同が可能となります。

8 小生は日本インドネシア協会として、本件のスタート時から種々支援を重ね、政府への要望も提出して来ました。現在も私的に候補者や関係者への細やかな支援を続けております。

尚、年一回のEPA看護師・介護福祉士候補者受入れ・支援関係者の懇親の「夕べ」を継続的に小生はアレンジしております。

この集いには厚生労働省、外務省、上記研修団体、日本インドネシア協会、ベトナム協会等の責任者や担当者にご出席願ひ、相互に親睦を深めていただいております。特に昨秋には日本インドネシア協会福田康夫会長(元首相)にもご臨席いただきました。

皆様におかれては、異国の地・日本各地で一生懸命に真面目に働く彼等にお会いや見かける機会があれば、是非共気楽に激励の声を掛けていただきたく付記しておきます。

博士論文は、カリマンタン（ボルネオ）島の西部でのフィールド調査を基に執筆し、これを改稿して拙著『インドネシア国家と西カリマンタン華人：「辺境」からのナショナリズム形成』（慶應義塾大学出版会）を2017年2月に出版しました。

この書籍が取り上げる西カリマンタンは、インドネシアのナショナルな国家建設の中では比較的后進地域とされています。しかしそうだからこそ、そこに暮らす人々は自前のネットワークを保持し、ジャカルタや台湾、香港、サラワクなど多地域に生活の糧を得るために移動し、自助的な活動（国民国家に期待しない活動）を展開してきました。このような活動は、国民国家単位では理解できない性質のものであり、それとは違った地域理解が必要とされます。本書は、従来のインドネシアという枠組みを前提としたジャワ偏重傾向の中で、それを前提とすることなく、地域理解を試みた地域研究の成果と位置付けられると考えております。

教育に携わるなかで、主な研究分野を基盤にして、それをいかにより広い研究分野の中に位置付けられるかということ絶えず考えるようになりました。自身の専門分野を最大限に生かしつつ、その幅を広げていく試みを、先生方との関わり、学生と接する中で進めたいと思っています。ご指導・ご鞭撻のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

した。



箕面市連携講座 2020年2月6日、箕面市と言語文化研究科（外国語学部）との連携交流の一環で、みのお市民活動センター会議室において「インドネシアの文化を知ろう！～阪大生たちが見た「生きた学び」～」という市民向けの講座を開催しました。卒業論文を提出したばかりの4年生から司会を含め4人が代表して発表しました。内容は、インドネシアの夫婦間の家事の分担、インドネシアの発育障害、インドネシアのムスリムファッション事情についてです。20名ほど集まってくださった市民の方々からご質問、コメント、励ましをたくさんいただき活発なやりとりが見られた一方で、インドネシアについてあまり知らない人にもわかるように発表をする大事さを痛感しました。



卒業式 いつもは大阪城ホールで大学全体の卒業式が執り行われ、外国語学部はホール近くのビルで卒業証書授与が行われますが、今年は新型コロナウイルスのために変則的な実施になりました。2020年3月25日、大学全体の式典は吹田キャンパスで代表者のみの出席で行われ、外国語学部は箕面キャンパスで卒業証書授与を行いました。3密とならないよう、専攻語ごとに場所も時間もずらすなど、例年にはない実施となりました。



キャンパス便り

大阪大学大学院
言語文化研究科准教授
原 真由子（はら まゆこ）

2年ぶりのキャンパス便りです。昨年度の終わり頃からの専攻語の様子を報告いたします。

国際交流基金日本語教員学生グループの訪問

2020年2月4日、国際交流基金関西国際センター主催東南アジア日本語教員養成講座（インドネシア）に参加するインドネシア全国の大学教員と学生計30人ほど来学し、インドネシア語専攻の学生と交流しました。本学の学生による阪大や専攻語についての紹介（インドネシア語で）、留学生による日本への留学経験についての紹介、インドネシアの先生方・学生さんによる本学学生へのインタビュー実施、合気道部による練習披露など、盛りだくさんの一日でした。日本語とインドネシア語と違いますが、外国語を学ぶ者同士、良い刺激をお互いに受けることができたと思います。学期末の試験や課題などで疲れていた学生にとって楽しい時間になりま

が、何年も通った箕面キャンパスで無事卒業を迎えることができました。

新学期と新入生 ようやく春～夏学期の授業期間を終えつつありますが（今日は8月1日）、今学期は学生にとっても教員にとっても、非常に緊張の伴う時間だったと感じています。3月26日に初めて新学期の方針が大学から発表され、対面授業ではなく、オンライン授業やオンデマンド授業で始めることになりました。しかも、もともと予定されていたスケジュール通り4月9日（ただし新入生用の授業は20日）から！その後、Zoomというオンラインの会合・セミナーを開催するためのアプリなどの講習会が、大学によって毎日のように開かれ（もちろんオンラインで）、私自身全く知識ゼロのところから勉強しました。そのほか、すでに用意されていたけれども、やはり私は全く使ったことがなかった、CLEという授業システム（授業資料のオンライン上での掲載、レポートの指示・提出などができる）も否応無く使わざるを得ず、急ごしらえで新学期を迎えました。

その中で、予想通り、例年大阪城ホールで行われる入学式は新型コロナウイルス感染拡大の防止のため中止になりました。インドネシア語専攻の新1年生は13人（うち一人は日本語専攻）で、内訳は男子6人、女子7人です（次ページに写真掲載）。キャンパスで友人を作ることができず、授業以外の大学生活を知らず、かわいそうな状況ですが、勉学意欲を失わずにいてほしいと願っています。

当初、学生のインターネット環境は大丈夫か、長時間Zoomにつなげるのか、ということが心配されましたが、思いの外その問題はありませんでした。それよりも、学生の顔がビデオで見えていても、反応がよくわからない（顔出ししなかったらその場にいるのかどうかもわかりません）、テストをやる場合にカンニングの恐れがある、など問題がいろいろ出てきました。学生にとっても、オンラインで授業を受けるのは大きな負担です（教員側も疲れますが、話す側より聞く側がもっとしんどいようです）。しかし、その一方で、ゼミの発表では、教室よりも発言が活発になった気がします。もしかしたら、対面よりもビデオ越しの方が意見を言いやすいのかもしれない。あと、Zoomではチャット機能を用いて、双方向でコメントを送ることができるので、意見のやりとりがさらに活発になる効果があるかもしれません。やはり、対面授業に勝るものはないと思うものの、オンラインの良さもあり、今後うまく組み合わせていく必要を感じています。

秋～冬学期は対面授業になるのか、まだわかりませ

んが、1日も早く大学生活を含め普段の生活に戻ってほしいと願っています。特に外国語学部では、授業だけでなく、留学も大きな問題です。さらに、箕面キャンパスの移転、大阪外大百周年記念なども控えています。今の所、キャンパス移転は予定通り（来年度4月）と聞いています。関連イベントについては、まだ決まっていませんが、時折大学ホームページ、咲耶会ホームページ等でご確認いただけますようお願いいたします。

近況報告（原 真由子）

教科書出版 南十字星会HPでもご紹介いただきましたが、この4月に『世界の言語シリーズ14 インドネシア語』（大阪大学出版会）を出版しました。大阪大学外国語学部における専攻語の授業で使用できる語学の教科書を出版するという企画シリーズ14冊目です。早速4月から1年生の授業（オンラインですが）で使っていますが、もちろん独習者の教科書としてもご利用いただけます。また、QRコードがついており、インターネットからも付属CDと同じ音声を聞くことができます。しっかり文法を勉強したい方にはおすすめです。



調査研究 研究面では、ずっとバリを社会言語学の観点から見続けています。最近は特に、バリアガと呼ばれるバリの古い形態が残っている地域を注目しています。バリアガ地域は、社会構造、言語などにおいて、デンパサールやウブドといったバリの他の地域とは異なります。バリアガ地域には王族、貴族層がおらず、平民層しかいません。例えばウブドでは、王族、貴族層には尊敬語といった敬語を用いますが、バリアガ地域ではどの人に対しても普通語を用います。つまりバリアガ地域の方言では敬語体系が存在しません。その他に、信仰、儀礼、慣習においてもバリアガ特有の点がたくさんあります。私はバリ北部にある村をフィールドに、言語を通して、バリアガ地域の特徴を考察し、記述するという作業を続けています。3月も訪問する予定でしたが、コロナ禍で中止せざるを得ず、今年これまでのフィールドノートをひたすら整理することになりそうです。





はじめまして

大阪大学大学院 言語文化研究科
インドネシア語専攻 特任准教授
ドウィ・プスピトリニ

はじめまして。私はドウィ・プスピトリニです。インドネシアでは、インドネシア大学人文学部ジャワ文学専攻に所属しています。2019年の4月1日から大阪大学大学院言語文化研究科（外国語学部インドネシア語専攻）の特任教員として着任しました。学部では、インドネシア語実習、インドネシア語言語学、インドネシア文化を教えています。また、大学院ではインドネシア語実習とインドネシア語言語学を教えています。担当する科目と関連しますが、私の専門は、言語学、特にインドネシア語、ジャワ語、古ジャワ語の言語学です。言語学だけでなく、言語教育、特に高等教育における外国語としてのインドネシア語教育や、ジャワ語教育、古ジャワ語教育も専門としています。

日本で暮らしてすでに1年以上経ちました。今まで何度も外国を訪れていますが、海外で長期滞在するのはこれが初めてです。私にとって、日本での生活は規律と秩序という点でとても居心地が良いです。また、日本では安心して外を歩くことができます。とはいえ、日本の習慣や文化に適応するにはかなり時間が必要だと感じます。もっとも困るのは日本語が話せないという問題です。しかし、幸運なことに、進んだ技術のおかげで翻訳機能を利用して問題に対処しています。まだ日本での「新しい生活」にどっぷりつかると十分な時間が残っています。その時間を活用して、たくさんの事柄を経験し、視野を広げていきたいと思っています。

研究としては、2013年に『オランダ植民地体制下ジャワにおける宗教運動』を出版し、2014年に東南アジア学会賞を受賞しました。また、2013年からジャワ語（古ジャワ語及び現代ジャワ語）文書を通時的に比較分析することにより、ジャワにおいて外来宗教がどのように解釈され、変容してきたかを明らかにする研究プログラムを立ち上げました。同プログラムで、ジャワ語のローマ字翻字テキストをデジタル化し、コンコーダンスを作成したり、ジャワ語文書研究シリーズ Javanese Studies を英語で出版したり、国際会議を定期的に日本で開くことによって国際的なジャワ文書研究ネットワークの形成を進めました。合わせて、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所語学研修のため、『ジャワ語の基礎

平成29年度言語研修ジャワ語初級テキスト』を作成しました。昨年は、エルサレムのヘブライ大学と、オランダのライデン大学で行われた国際会議でその成果を発表しました。これらのジャワ語文書プロジェクトは、他の東南アジア諸語文書研究も加え、現在も進行中で、現地語史料の歴史研究利用の有効性を今度も発信していく予定です。



近況報告

大阪大学大学院
言語文化研究科准教授
菅原 由美

阪大に着任して、この10月で10年になります。インドネシア語専攻の教員としては、日々の授業に加えて、夏は1~2年生を連れて、ジャワ（ジョグジャ）またはスマトラ（アチェまたはパダン）で合宿、秋は東京外大、南山大学との3大学合同合宿を企画するようになりました。また、現在阪大には100名ほどのインドネシア人留学生がいますので、年に数回、インドネシア留学生協会（PPI）大阪・奈良支部との交流会や共催プログラムを実施するようになりました。



Group Mail への発信お願いと雑感

梶谷 昌博 (1956 年卒)



お 願 い

南十字星会の Group mail に、大角さんのお蔭で大変有難く楽しく参画させて頂いています。同窓との繋がり、歳と共に必要な社会との関り継続維持（ボケ防止にも必須の由）にもなっています。皆さんの南十字星会への参画と GM への積極的な発信をお願いします。

80 歳以上でインターネット通信をやっていないお方（80 歳以上でやってない人が全国で 50% を超えるそうです）で、同 Group mail に興味のある方は、私にご連絡下さい。出来る限り、発信を代行しますし、役に立つ受信情報は印刷して（hand out）郵送致します。

雑 感

お互い高齢になると、病気の話が多くなります。私も、ここ 2 年腰痛・脊柱管狭窄症に悩まされています。原因は、悪い姿勢での連日毎回一時間以上の PC 操作と重い灯油を急ぎ運んだこと等です。人間は、痛かったり、苦しいと全てに negative になり、これが体に一番悪いそうです。手術なしのリハビリ散歩がかなり効果的です。腰痛改善には多くの同病の仲間知人の体験談が一番役立ちました。

次に、楽しいのは旅行等の趣味のことで、Group mail ではジャワ西部のチカラン滞在の丹羽さんの長期間の便り、宮崎さん小原さんの紀行記等、勉強にもなり楽しく有難いです。

そして特に心掛けたいのは、情報の共有で、例えば、新型コロナの看護現場の声を友から提供を受け、当グループ内や別グループへ転送して大変感謝されました。

略 歴 と 近 況

奈良県吉野町上市の出身で 1956 年卒。戦後生まれの住友商事に入社、1950～53 年朝鮮戦争特需、1954～57 年も高度成長時代だったが 56 年はまだ就職難で、直 Indonesia 関係に携われたのは 27 名卒中僅か 3 名で、他は広い分野で活躍されていましたが、今では物故者も多く疎遠になっています。57 年の神武景気から良く状況は改善されました。

59 年に新設直後のジャカルタ事務所に赴任し、1980 年まで 20 年間 4 回計 10 年の駐在を含めて東京～ジャカルタを往復しました。主に通信放送インフラ・電子関連を担当。80～90 年には同部門の中東・欧州・アフリカ等を担当。90～93 年中国全般担当し、天安門事件直後の北京に駐在しました。93～99 年住商情報（現 SCSK）へ、そして 99 年定年退職しました。その後は、2018 年まで府中市内の外国人に日本語教育と留学生を支援していましたが、腰痛もあり 85 歳で全活動を終了し、現在は、人生を positive にやろうと、リハビリ主の散歩・趣味の音楽に専念中です。

インドネシアの音楽等に
興味おありの方はご連絡下さい

何かお役に立つことをしたいと
思っています

梶谷 昌博

〒183-0051 府中市栄町 1-20-11

☎: 042-363-0901

メールアドレス:

m.masutani@jcom.home.ne.jp



(初回交付された革表紙のパスポート)

1 955 年 4 月、インドネシア・バンドンで母国の独立の闘士として名高いスカルノ大統領主導にて開催されたアジア・アフリカ (A・A) 会議の様子を連日、紙面狭しと大きく報じた京都新聞記事に触発され、将来躍動するであろう“第三世界”に自らを置いてみてはと素直に身を熱くしたのが、今を去る 65 年前の貧農の次男坊、高校三年生の春でした。

幸いにも 1956 年 4 月インドネシア語科 (定員 20 名) に入学を許され、最初一年間は高槻市の旧日本陸軍兵舎跡地で学び、1960 年 4 月運よく住友商事に採用・入社となり、更に翌年 3 月インドネシアへの赴任に恵まれたのであった。小生にとり初の海外へと、香港・シンガポールを経てジャカルタ入り、クマヨラン空港から市内に入り、ホテル・インドネシアもまだ 5-6 階までの建設途上であったことは今も記憶に残っています。

小生は、それ以来ジャカルタ駐在を重ねたが、今回はスカルノ政権下での見聞・体験の昔話を述べさせていただきます。

当時、インドネシア人の勤務時間は朝 8 時から午後 2 時迄 (金曜日は 11 時迄)、月給も極めて僅かで、1-2 週間の生活費を賄うのがやっとと役人の嘆きをよく聞かされ、彼らは体力消耗を避ける生活を心掛けていたようでした。それでも、スカルノ大統領の演説ある日は街は盛り上がり、我が家の女中さん

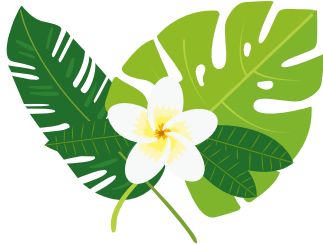
も身支度して、仲間と共に長距離を徒歩で会場に赴き、そのスピーチに酔いしれて、満ち足りての帰宅でした。

駐在員にとっては、商談を進めるには、昼間の時間が限られ、“夜討ち・朝駆け”となり、有力者宅を訪ねれば、奥様がこの時とばかりオランダ語で会話をされており、またバンドンの PTT (電電公社・本社) の事務所のガラスには“Pakailah Bahasa Indonesia”の張り紙も目にしたものでした。駐在員は単身赴任で社宅を借りての共同生活で、夜は日本への電報作成に追われ、一括して若い小生が車で電報局へ持参するのが日課でした。この当時数少ない駐在する日本商社マンの間では、極めて不自由な生活から“誰もが嫌がるジャカルタ、地の果てインドネシア”との声が流布されていたし、内地より持参したカレンダーにその日が終われば、いち早く‘×印’をして、帰国できる日を待つのでした。

1 965 年 9 月 30 日、小生も身近かに体験した、忘れもしない、歴史に残るスカルノ政権転覆未遂事件 (インドネシア共産党中心に主導されたとされている) を契機にして、1968 年のスハルト政権樹立へと繋がり、「開発の父」と称せられたスハルト大統領時代には、この間 3 度の駐在を重ねて、公私に極めて充実した駐在員生活を体験させていただきました。

忘れられない思い出

田中 保春 (1978年卒)



1 972年、私は試験会場の下調べのため駅を出て大学に向かった。しかし、歩けど歩けど校舎らしき建物が見つからず途方に暮れた。最後に、人形が置いてある店の方に尋ねた。「すみません。大阪外大はどこでしょうか？」すると、「ここを出てすぐ左や」と言われた。正門前から校舎を見た私は、一瞬言葉を失った。「これが大学の校舎？ほんまかいな！」

大学での勉強は最小限で、家庭教師や怪しい英語教師などアルバイトで忙しかった。高校時代から熱中していたスキーの用具代と宿泊費を稼ぐためだ。通学途中で、パチンコ屋に吸い込まれる事も多かった。

か ろうじて卒業出来、石川島播磨重工 (IHI) に就職した。親が自営業をしていたので会社勤めが分からず、単純に東京に行けるのが嬉しかった。取得した単位は卒業する為のギリギリだったので、50歳になるまで単位が足りず留年する夢をよく見た。

最初1年間、会社の発祥地である佃工場で溶接実習をした。佃は今でこそウォーターフロントのタワマンで有名だが、当時は殆ど知名度がなかった。勤務地が佃と聞いて、「佃煮の会社ですか？」と複数の女性から質問されたことがあった。説明するのも面倒なので、「はい」と答えたが、相手からそれ以上の質問がなかったので助かった。

大 手町本社に配属され、最初の難関に直面した。直属の部長から、「インドネシアの造船

会社の社長が、明日うちの副社長を訪ねてくるので、インドネシア語で通訳しろ」と指示された。全身から血の気が引いた。

簡 単な通訳ぐらいなら大丈夫だろうと思ったらしい。実習期間は遊び呆けていたので、インドネシア語は殆ど忘れていた。悩みに悩み、勝負(たいたした事はありません)に出た。受付でその社長を出迎え部屋へ案内する間に、たどたどしいインドネシア語で話しかけた。

「私は今日通訳をやらなければなりません。でも、私はインドネシア語には自信がありません。うちの副社長はジョークが大好きなので、おそらくジョークであなたを笑かそうとしますので。私は上手にインドネシア語で伝える事が出来ません。もしあなたが笑ってくれないと、私はクビになります。そこで、お願いです。通訳している間、もし私がこの様に手を胸に置いたら、笑って下さい。」

不 憚に思ったのだろう、快諾してもらえた。予想通りジョークが出たが、怪しいインドネシア語で何とかごまかし、「お笑いの秘策」は成功した。翌日、部長から「お前のインドネシア語は巧いと、副社長が褒めてたぞ！」と聞かされ、穴があれば入りたい気持ちで一杯だった。

30歳でIHIを退職し投資銀行の世界に入って以来、インドネシアとの縁は無くなりサウジアラビアと25年余り付き合っている。

最後に、小原会長のご同期でインドネシア語の堀田先輩は、私と幼稚園、小学校、中学校、高校、そして大学(学科も)まで奇しくも同じです。また私の妻は高校と大学は同じですが、アラビア語卒です。



チカラン散歩フォト曼陀羅

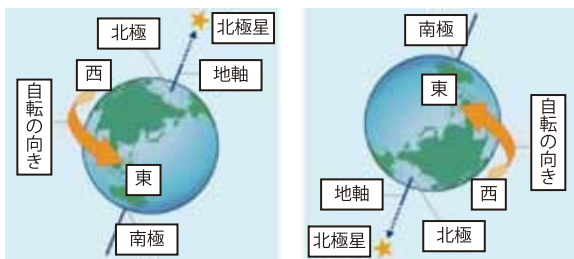
丹羽 慎吾 (1975 年卒)

四年前にインドネシアに駐在となり、西ジャワ州ブカシ県チカランに住んでいます。健康増進、いや減量のため早朝散歩をしています。散歩コースはアパートの周辺の何か所かの住宅地にお邪魔しています。歩きながらいろいろ考えます。



1. 南半球なのです。

「西も東もわからないのでよろしくお願いします。」とは日本でよく聞いた転勤者の挨拶です。南の国に来ると西と東どころか北も南もよくわからなくなるのです。ジャワ島は南半球にありジャカルタは南緯6度に位置します。南半球では日本にいるときの太陽や月の動きに戸惑うからだと思います。



地球は北極から見ると反時計回りで回転します。それを南極から見ると時計回りなのです。北半球と南半球で見る月の形や模様は同じでもその向きが違うのです。



北半球で見る 赤道付近で見る 南半球で見る

月が天頂にある時に北半球の人は南の空に月を見ますし、南半球の人は北の空に見ます。

これは次のように考えられます。

たとえば北町と南町の間一方通行の道路があり、車が東から西へ走って行ったとします。

北町の人でも南町の人でも車は「東から西に走って行った」と云います。しかし、その走った方向は北町の人には左側から右側に車は走ったと云い、南町の人には右側から左側にと云います。つまり方角は一緒でも方向が違うのです。



2. 出会う人たち

出会う人たちは笑顔で、人懐こい人ばかりです。



早朝から働く警備員さんたち
毎朝出会うのですのですぐにお友達になりました。



同じく早朝からのゴミ回収車の人たち
この人たちはエッセンシャル・ワーカーです。
手でゴミ箱を車に手で放り上げ、荷台の人がそれを空にして投げ落とします。大変な作業です。



庭の手入れをする人たち

住宅地の庭先は花壇であり家庭菜園でもあるのです。でも草花も野菜も果物も育てるのは楽しいですね。



客待ちのバイク運転手 JAMU売り

3. 草木の花に騙されます。

花かなと思って近づくと葉でした。



散歩はまるで熱帯植物園の中を歩いているようです。ブーゲンビリア、ハイビスカス、プルメリア、ヘリコニア、アデニウム…。同じ枝に赤色と白色の花が咲いてインドネシアの国旗のような花もあります。

インドネシアの国の花はジャスミン（メラティ）ですが、魅惑の花としてコショウランが追認され、その後に珍奇の花としてラフレシアとスマトラオオコンニャクが追認されています。スマトラオオコンニャクは世界で最大の花と言われます。後者の珍奇の花ふたつは腐臭を放って昆虫を集めます。



エル・カピトリオ 赤と白の花が カリアンドラ

またインドネシアの国の木と言われるのはベンガルボダイジュ（Beringin、沖縄のガジュマル）です。Beringinは枝から伸びた気根が地上に突き刺さって一本の木が広がっていくので多民族が一つに国にまとまるという意味でインドネシアの統一を表し、国章にも描かれています。しかし『絞め殺しの木』ともいわれます。というのは他の木に巻き付いて枯らしてしまうからです。



絞め殺しの木？

4. 熱帯の果物

庭先に植えてある果物で実の生り方がわかります。



パパイヤの実 ジャックフルーツ バナナの花と実

あっ、忘れました。インドネシア語も看板などで勉強していますよ。

最近では新型コロナウイルスのため住宅地入口でマスク着用義務などの垂幕がいくつも掛かっていますが、住宅地に入るとと売家、貸家、そして美化に関するものが目につきます。



近くの教会の垂幕。コロナにより自宅でのお祈り指示。



前任地のインドとチカランでの駐在記を次のHPに載せてもらっています。興味ある方はご覧下さい。

<https://bungeikan.heimnohiroba.com/category/niwa/>

新型コロナウイルスの中での留学生活

ラーマナ・ヌル・アリニ

(大阪大学大学院博士前期課程2年)

私は文部科学省(MEXT)国費外国人留学生奨学金で日本語と日本文化を学ぶ機会を得て、2018年に大阪に来た。しかし、2020年の頭から、日本だけでなく世界中で流行している新型コロナウイルスの影響で、外出自粛が求められ、せっかく日本にいるのにも関わらず、行きたいところにも行けず、日本でやりたいことが思いっきりできない。そして日本でいつもやっていることも出来なくなってしまった。例えば、5月にある断食の月(ラマダン)の時、毎年大阪大学の吹田キャンパスで他のイスラム教徒と一緒に礼拝をしていたが、夜の礼拝も中止となり、ラマダンで一番大事なイードアルフィットルの祝いも出来なくなってしまった。



しかし、悪い変化があれば良い変化もある。自粛生活中は、オンラインで講義を受け、自分の研究の時間も集中でき、基本的にいつもと変わらないことができていく。だが、新型コロナウイルスでそれなりの不安やストレスを感じているため、心のケアの大切さに気づいた。そして自身の健康面により気を遣った。それ以外にもお金と時間の使い方について考えたりする良いきっかけとなっている。

また日本で新型コロナウイルスに対する日本政府と日本人の反応に関心を持っている。不思議に思うのは、いつもよりは空いているとは言え、日本人は普通に満員の

電車に乗って通勤しているのに、なぜ感染者が欧米に比べ少ないのだろうか。確かに日本に住んでみて、日本ではマスクをつけることや、うがいや手を洗う事も当たり前になっており、そもそもできるだけ知らない人と距離を取っている印象があるので、それが影響しているのだろうか。一番印象的なことは、日本政府が緊急事態を宣言し、自粛を求め、常にマスクを着用するように人々に要求するだけで、ほとんどの日本人がこれらの規則に従っていることだ。これは、日本人の特徴の一つとして考えられる、他の人と同じ格好、同じことをしている方が落ち着くと感じる、集団主義の表れだろうか。



また、新型コロナウイルスで政府から支給される現金10万円の特別定額給付金は、国籍に関係なく、日本に住む全員が受けられる。頼りにできる家族もなく、バイトの収入を失った多くのインドネシア人学生にとって非常に有意義である。日本政府だけでなく、インドネシアの総領事館も支援を提供することにより、困窮したインドネシア人が支援を受けることができた。インドネシア留学生協力団体(PPI)は学生レベルで新型コロナウイルスに対するチームを結成し、ウイルスに関してインドネシア語の情報を提供し、大阪にいるインドネシア人学生に食糧援助などの支援を行っている。すべての人が協力して、困難な状況で互いに助け合うことが本当に素晴らしいことだと改めて気づいた。

最後になるが、日本だけでなく、世界中が新型コロナウイルスに負けずに、みんなで前に進み、そして世界的流行が早く治まり、平和な日常が訪れるように願っています。

インドネシアを旅する

ジャカルタ支部長

坂口 広之 (1988年卒)

既に24年暮らしているインドネシア…。東西5千キロを超える広い範囲に一万を優に超える島々を持ち、その中でたくさんの民族がインドネシア人として暮らす国。世界最多のムスリムを有する国でありながらイスラムを国教とせず、パンチャシラという建国5原則を国是とし纏まっている国。

多様な文化・風習を持つ各地域をパスポートなしで動きまわり、どこでもインドネシア語で意思疎通出来るこの国は、異文化体験大好きトラベラーにとって独特の魅力に溢れる国と言えるでしょう。

私が国内旅行に頻繁に行くようになったのは2008年末。この12年で全34州中31州を旅することが出来ました。インドネシアは総じて各州がとても大きく、1回・2回の小旅行ではなかなかその魅力を掘り下げることが出来ず、東ヌサトゥンガラ州は既に5回・マルク州3回・パプア州4回というように特別に好きな州は何度も足を運んで前回行けなかったエリアに足を伸ばしています。

「一番印象深い旅先・お勧めの旅先は？」と聞かれた時に答えるのは「パプア」。トライバルアート好きで、パプア(カモロ、アスマット)の木彫りも3m超えの巨大なものまで数多く蒐集しており個人的にパプア贗品というのがありますが、ストレートに強い異文化を感じたければパプアに行くのがベストと思います。

異文化体験旅行の一例として、3年前に行ったパプア州ミミカ県ティミカ・パンタイ村の話を少しご紹介します。

目的地ティミカ・パンタイ村へは、ティミカ Mozes Kilangin 空港から車で約1時間、船着き場でエンジン付きボートに乗り換え約3時間の道のり。海ルートで2時間という選択肢もあるが行った時期はアラフラ海の波が高かったため、3時間は川ルート。川岸にはワニが棲息しており、一旦ボートが岸を離れ出発すると目的地までトイレには行けず。ティミカ・パンタイは海岸近くにあるため、満潮時には膝上の高さまで

村全体が水没。それゆえ全ての家が高床式。電気が通っていないため冷蔵庫もなく、その日捕った魚・蟹・海老・貝など海産物はその日のうちに食べ、明日はまた新たに捕る日々の繰り返し。携帯の電波も入らず、携帯電話はカメラ機能しか使えない世界。そのティミカ・パンタイ村に3泊4日滞在。



Timika Pantai 村に到着



Timika Pantai 村、宿泊する空家の前で家内と



Timika Pantai 村の子供達と

この旅の目的のひとつは、彼らの日常活動に同行し体験すること。まず朝、複数の男性と女性が舟で村を出て、マングローブの林で女性たちを下ろした後、男性はそのまま近くの川で魚釣り。マングローブでは蟹・貝以外にタンベロという朽ちた木の中にいる長細く白い大型ミズのような生き物も捕る。タンベロは蛋白質が豊富で現地の人たちが好んで食べるもののひとつ。見た目はグロテスクながらツルツツと食べることが出来る。



マングローブ林で tambelo を食す

午前の収穫は村に持ち帰り小さく切り分け、サゴ椰子澱粉を練ったものに入れ、古木で火をおこし焼く。焼き上がるまで時間はかかるが美味しい。午後の暑い時間帯は皆村でゆっくり過ごす。

カモロ族の男性は木彫り・女性は木の皮を糸状に紡いだもので編み物を作る。夜は宿泊した空家の前に村人たちが集まり、歓迎の歌と太鼓と踊りが続く。ただ、灯りは地方政府に設置してもらった太陽光パネルによる充電頼みであるため日没後数時間で村は漆黒の闇に包まれ、集まっていた村人たちも三々五々各自の家に。そして我々も就寝。

その他のパプア州内では「ジャヤプラ・メラウケからアプローチするパプアニューギニア国境」、「コテカを付けた高原民族の住むワメナ」、「太平洋戦争の激戦地ビアク島」もとても印象深い旅でした。

私にとって残された3州は北スマトラ州・中スラウェシ州・西スラウェシ州。各州の見たい場所・物も定めて出来れば今年全て、もしくは2州は訪れるつもりでしたが新型コロナで当分お預けとなりました。旅の再開が叶うようコロナの早期終息を祈るばかりです。



ritual Kaware



Timika Pantai 村人と



Timika Pantai 村人と



カモロ木彫り、自宅にて

健康を保つために、日頃の生活の中で「ちょこまか」と動き回しましょう!!

社会福祉士・ケアマネ

剣 小平 (1963年卒)



2 008年から日本でも始まった「メタボ検診」は内臓脂肪症候群（代謝性疾患症候群）「メタボリックシンドローム」と言われています。

現在日本人の死因の第2位は心臓病、3位が脳卒中で、何れも動脈硬化が原因で起こることが多い。動脈硬化を起こすリスクファクターとしては「高血圧」「糖尿病」「脂質異常症」「肥満」などがあり、これらの生活習慣病は運動不足が原因なのです。

「殆どの生活習慣病は基本的には内臓に脂肪が溜まってきて、その内臓の脂肪から分泌される色々な生理活性物質に或いはアディポサイトカインによって病気が起ることが分かって来たのです。

例えば、宇宙飛行士は宇宙でのたった2週間の滞在（無重力の状態）で糖尿病の状態よりも悪くなるのです。この事実から運動が如何に大切かが分かります。

米国で心臓病の発生が問題になり、大統領諮問機関でどうすれば米国人の心臓病を克服できるかを専門家に諮問したときに、「有酸素運動」の概念が出て来ました。ウォーキングが有酸素運動として一番手軽で継続しやすいものです。

有酸素運動の効能

① 冠動脈の血管径の拡大及び測副冠動脈の形成

(心臓への酸素供給量の増加)

運動することにより、心臓の血管が太くなる。心臓の筋肉が強くなる。心臓の仕事の量も増える

② 凝血や繊維状溶解の機能の改善

(血液さらさら効果)

③ 心筋の酸素需要(仕事量)の低下

(血圧と心拍数の低下による)

心臓の筋肉から血圧を下げるものが出る。

④ 血中インスリン濃度の低下、対糖能改善

(糖尿病予防・改善効果)

⑤ 不整脈発生率の低下

(心臓突然死予防効果)

心臓の不整脈の発生率が大幅に減る。

⑥ 血管を掃除してくれる善玉コレステロール

(HDL)の増加(抗動脈硬化作用)

● 運動をする人は心臓からホルモンが出るため「がん」になることが少ない。

● 運動中にベーターエンドルフィンが出て精神衛生上も自律神経系にも良いと言われている。

戦後、日本人の糖尿病患者が増えている(世界で第5位)が、肥満が多くなっているのは食べ過ぎて太ったよりも、動くのが少なくなっているからです。

上記のごとく、生活活動の中での「ちょこまか運動」が代謝関連バイオマーカに好ましい効果をもたらす事です。



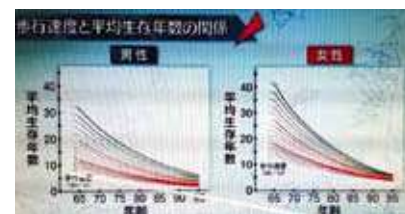
<増加する糖尿病患者数>



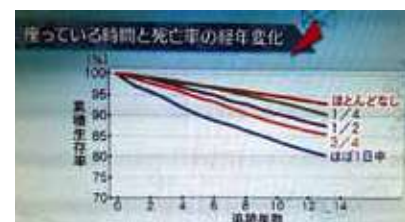
<現在は肥満薄命>

メタボが注目される昨今、中高年が留意すべき点

- ① 長時間の座った状態が長ければ代謝関連の健康を損ね、健康にとって重大な危険因子であるとの見解が多くなって来ています。
- ② 糖質の取り過ぎが問題になっているが、実は摂取された脂肪は体内に蓄積されるが、余剰のタンパク質や糖質はその日のうちに代謝されます。
- ③ 糖質を脂肪に合成するには25%のエネルギーが必要であり、高糖質を食しても、合成される脂肪は1日10gを超えることはない。一方、中性脂肪はエネルギー消費無しで体脂肪に合成される。栄養バランスの良い食事をとることが何よりも重要なのです。



<歩行速度と生存年数>



<座っている時間と死亡率の変化>

<参考文献>放送大学・健康長寿のための「スポーツロジー」



2人の multilingual 国際人を偲んで

追悼のことば

梶谷 昌博 (1956年卒)

同窓には、インドネシア語を超えてマルチ分野(会社の管理部門等から地方議員迄)で幅広く活躍された方が多く、頼もしく尊敬し多くを教わっている。

今回は同窓でインドネシア語(も上手だったが)を超えた2人の元商社マン multilingual 国際人の金田さんと浦川さんを偲んで紹介したい。

(1) 金田利章氏は大5回1957年卒、住友商事入社、鉄道車輛・自動車部門で活躍、1969年バンドン駐在、社内でも評判の美人のお奥さんを帯同され、家族ぐるみの日伊友好に尽くされた。1975年頃からは長年に亘り、フランス語圏のベルギーのブラッセル、続いてカナダ・モントリオールに駐在。社内でも貴重な抜群のフランス語が重宝された。殊に、お嬢さんのフランス語が素晴らしく、容姿と共に評判で彼の地でも可愛がられたそうでした。カナダ駐在中に定年を迎えたが、この地が気に入り、以降永住すべく市民権等生活ベースを全て整備されていた。

然し、80歳過ぎの年老いた数年前に、最後は日本でと、湯河原下車、家から徒歩5分で釣り場の多い海岸の楽しい茅ヶ崎に戻って来られた。近年は奥さんの介護に気遣い乍らも、国際人らしい悠々の生活をされていた。ただ、数年の肺気腫も軽く元気だと言われていたが、病状急変し、令和2年5月末に急逝された。

(2) 浦川裕司さんは大7回1959年卒。江商に入社、67年兼松との合併時に住商に移られ、農薬等化学品部門で活躍された。

1970年ジャカルタに駐在、爽やかな行動と豪快な人柄で、社内外で人気抜群であった。

ジャカルタ近郊の田圃での農薬のデモで、魚や虫が入れた農薬で死んでいる容器の水を飲んで、住友化学の農薬スミチオンがいかに人体に無害であるかを生身体で立証したのには度肝を抜かれた。勿論農薬輸出実績も抜群であった。次に、農業大国ブラジルに農薬市場開拓の為Sao Pauloに駐在、猛勉強での上手なポルトガル語(ブラジル語)と人柄で重宝され相次ぐ駐在延長で、駐在中に定年を迎えた。ブラジルが大好きな上、強い現地の農薬肥料専門会社の要請で、責任者として、ブラジルでの生涯永住を決められた。治安衛生医療に問題ありの国だが、農業面で貢献したいと言っておられた。

数年前に健康を害されたが、何故か帰国せず、ブラジルに骨を埋めたそうです。今回のブラジルのCOVID19対応を見聞して、浦川さんの心配されていた公共衛生と治安が一向に良くならず、浦川さんの逝去の無念さが、どうしようもなく悲しく思い出されます。(平成25年にご逝去)

素晴らしい multilingual 国際人だったお二人のご冥福をお祈りします。

お知らせ

★2020年南十字星会総会（11月14日〔土〕・中之島センター）が本年度はコロナ禍の為に中止になりました。また、東京支部総会（6月6日〔土〕・新宿住友ビル）も中止になりました。

★外国語学部が2021年4月から新キャンパス、大阪メトロ「箕面船場阪大前駅」（2023年度に完成する）に移転。この駅周辺には箕面市の図書館、文化ホール等が同時に完成。

★2021年には外大創立100周年、阪大創立90周年を迎え、これからの百年も大阪に国際人を育てるキャンパスをめざしています。（記念イベントが開催される予定）尚、外国語学部では、100周年記念事業として「大阪外国大学記念ホール」建設の為に寄付を募集中です。咲耶会でも記念グッズを作り、募金者に対して提供するようです。詳細は咲耶会のホームページ、又は<https://sakuya100.com>にアクセスして下さい。

★箕面新キャンパスは新御堂筋線を中心に、東に吹田キャンパス、西に豊中キャンパス、南に中之島キャンパスがT字型に交差する場所でヘッドクォーター（司令部）となるポテンシャルを持つ場所としての都市型キャンパスで、新たな学際領域を創造する交流拠点です。

★インドネシア語専攻の先生が4人になっています。
①原真由子先生 ②菅原由美先生
③松村智雄先生 ④ドウィ・プスピトリニ先生

★原真由子先生が「インドネシア語」(世界言語シリーズ14)を発売。CD付。会員の復習用に絶好の教科書です。（大阪大学出版会 ¥3,630 アマゾンで購入可）

★南十字星会の東京支部ではEmailを利用した情報交換をしています。会員であれば、仲間入りができるので、希望者は東京支部の大角幸彦氏へ申込んで下さい。
(ohkado@live.jp)

★内原正司ジャカルタ支部長（'64卒）が6月に帰国し、代わって坂口広之氏（'88卒）が支部長に就任しました。

★1981年～2003年まで外大インドネシア語客員教授であったアイブ・ロシデイ先生がジャワ・マグラで去る7月29日にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

【その他】ご承知の如く、大阪市立大学と大阪府立大学が統合し大阪公立大学として2022年4月に開学。2025年4月以降は「森ノ宮新キャンパス」で前期2年間の基幹教育を行います。英語名は「University of Osaka」。阪大は英語名が紛らわしいと抗議したらしい。

新大学の学部入学定員数は国公立では阪大、東大に次ぐ全国3位。両大学が切磋琢磨すれば大阪の知名度が上がるでしょう。阪大がんばれ！！

南十字星会 幹事会名簿

令和元年11月25日現在

氏名	卒業	担当
小原 一浩	63年	会長
石丸 誠一	75年	副会長
辻本 雅洋	75年	副会長・東京支部長
沖中 弘和	95年	事務局
高田 芳博	07年	HP管理者
宮崎 衛夫	65年	幹事
大角 幸彦	77年	幹事
坂口 広之	88年	幹事・インドネシア支部長
片山 秀樹	90年	幹事
戸田 理恵子	05年	幹事
西野 めぐみ	05年	幹事
増田 崇行	07年	幹事
松本 晋	08年	幹事
原 真由子	教員	幹事

会計報告書（令和元年12月1日～令和2年3月31日）（4か月）

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金 (宮崎前会長から送金)	116,337 137,085	ゆうちょ振替用紙印刷費	3,103
(宮崎前会長から送金)		次期繰越金	250,319
合計	¥253,422		¥253,422

〈注〉今回は変則的に会計報告（4ヵ月）いたします。
尚、次回は会則に則り、期末の令和3年3月31日付で報告いたします。

令和2年 3月31日 南十字星会会長 小原 一浩

編集後記

会報第25号で一旦は休刊となっていたものを今回、第26号の発行を企画したところ、多数の投稿を頂き、20頁の会報となりました。

外国語学部は、来年（2021年4月）には新しいキャンパスに移転します。大阪メトロ御堂筋線の新駅（箕面船場阪大前）は（残念ながら完成が2年間おくれませんが）大阪市内の中心地からアクセスが良く、学生の通学にも大変便利な立地です。都市型キャンパスとして人気上昇が期待できます。

一方、南十字星会としても、専攻語の発展を祈りつつ、会員相互の情報交換の場が広がれば大変うれしい事です。会員各位の投稿・近況・ご意見等をお待ちしています。

南十字星会の運営は同窓生の協賛金により賄われています。今後とも会の趣旨にご賛同頂き、温かいご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。（K.O生）



2020年（令和2年）10月発行
南十字星会（大阪大学外国語学部インドネシア語専攻同窓会）
事務局 〒589-0007 大阪狭山市池尻中1-28-1 小原方
電話：072-366-1113
E-mail: ohr1210@nike.eonet.ne.jp
編集協力 吉崎企画